

第4回バイオ技術応用研究会

開催日時： 平成16年12月9日（木） 16:00～

開催場所： 福井大学ベンチャービジネスラボラトリー 5階会議室
〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号 Tel (0776) 23-0500 (代表)

会議内容： **講演** 16:00～

「残留有機リン農薬を細胞表層で検知し、分解する機能をもつ新しい細胞センサーの開発」

福井工業高等専門学校 物質工学科 助教授 高山 勝己氏
農薬に用いられる有機リン化合物（OPs）は、アセチルコリンエステラーゼを強く阻害し、神経系を攪乱する物質として知られている。有機リンヒドラーゼ（OPH）と改変型蛍光タンパク質（EGFP）の両者を、同じ細胞表層に発現する遺伝子組み換え酵母を創製し、これを認識素子とするOPsセンサーの構築について現状を紹介する。

「イオンビームのバイオ研究への利用について」

若狭湾エネルギー研究センター生物資源グループ 主査研究員 畑下 昌範氏
組み換えを伴わない安全性と従来の放射線とは異なる特性を有するイオンビームは新しい育種方法の開発や新しい突然変異原としての利用が期待されている。本発表では当センターのイオンビームを利用したバイオ研究の取り組みについて紹介する。

「絹タンパク質セリシンの新規機能開発と利用研究」

セーレン株式会社技術開発部門 開発研究第3部 佐々木 真宏氏
当社では、絹タンパク質のセリシンに着目し、機能解析と用途開発を進めてきました。これまでに開発したセリシン応用製品の一例や最近の産学官共同研究等で見つかった新たなセリシンの機能について紹介します。

親睦会 18:00～

連絡先： バイオ技術応用研究会事務局 櫻井 明彦

TEL：0776-27-8924； FAX：0776-27-8747； E-mail：sakurai@acbio2.acbio.fukui-u.ac.jp